



▲高レベルな操法が披露されました。

- 大会の結果は次のとおりです。
- 《小型ポンプの部》
- 優勝 揖斐川町消防団 大深分団
 - 準優勝 揖斐川町消防団 脛永分団
 - 3位 揖斐川町消防団 小島分団
- 《ポンプ車の部》
- 優勝 揖斐川町消防団 揖斐分団
 - 準優勝 大野町消防団
 - 3位 揖斐川町消防団 大和分団

6月19日(日)、大野町の相羽(あひぼ)グラウンドで、第56回揖斐郡消防操法大会が開催されました。

大会には揖斐郡内の消防団から、小型ポンプの部に8チーム、ポンプ車の部には13チームが出場し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

第56回揖斐郡消防操法大会

〈2年連続で、小型ポンプの部・ポンプ車の部 優勝独占!〉

また、8月7日(日)には、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場(恵那市)で、「消防感謝祭」第60回岐阜県消防操法大会が開催されます。揖斐郡を代表して、揖斐川町の消防団が出場します。大会での活躍を期待しています。



▲ポンプ車の部優勝 揖斐分団



▲小型ポンプの部優勝 大深分団

土砂災害が発生したことを想定した防災訓練が6月26日(日)、久瀬地区で行われました。

訓練には、久瀬地区の住民の皆さんをはじめ約550人が参加し、各地域で避難訓練を実施。メイン会場となった久瀬日坂公民館には、現地災害対策本部が設置されました。

会場では、消防団による土のうこしらえ訓練が展開されました。

訓練終了後には、国土交通省越美山系砂防事務所(たむらたけ)の田村毅(たむらたけ)所長を講師に防災講演会も行われ、参加者は、防災意識をより一層高めていました。



▲消防団による土のうこしらえ訓練

久瀬地区土砂災害防災訓練

〈災害に強いまちづくりを目指して〉



▲防災講演会



▲レスキュー隊による車両事故救出訓練

谷汲ゆり園 ゆりまつり

6月12日(日)、19日(日)の2日間、谷汲ゆり園で、ゆりまつりが開催されました。今年の谷汲ゆり園は、50種類30万球のゆりが植えられ、ゆりまつり当日には、早咲きのスカシユリ系が鮮やかに園内を彩りました。会場内では、谷汲踊やおばお太鼓が披露され、カラオケ大会も行われました。

ゆり園は、谷汲大洞地区の皆さんが力をあわせて管理しており、平成8年の開園以来、少しずつ整備が進み、現在では、3ヘクタールのゆりの園が来場者を楽しませています。



▲ゆりまつりで披露された谷汲踊

奥いび湖大橋が完成

6月12日(日)、横山ダム(東横山の堰堤上)を通る国道303号に代わる新しい橋「奥いび湖大橋」の完成を記念したウォーキングイベントが開催されました。

奥いび湖大橋は、長さ232メートル、幅約8メートルで、高さ約40メートルの中央の2つの主塔から48本のケーブルが伸び、橋げたをつくる構造になっています。

ウォーキングは、橋と横山ダムを往復する1.5キロメートルのコースで午前と午後の2回行われ、約500人が参加しました。

出発前には、橋の上で、夜叉ヶ池伝説道中まつりで披露される「龍神の舞」が行われました。会場では、各種飲食ブースや、木工教室、パークラフト体験もあり、親子で挑戦していました。

6月16日(木)には、開通式が行われ、交通の安全性が向上した橋の完成を祝いました。

宗宮町長は、式典のあいさつで、「人と物、観光の交流が盛んになり、岐阜県と滋賀県をつなぐ橋になることを期待しています。」と話しました。



▲ウォーキングの様子 (6月12日)



▲開通式のテープカット (6月16日)

有害鳥獣被害対策協議会総会

6月14日(火)、揖斐川町役場で、揖斐川町鳥獣被害対策協議会総会が開催されました。

近年、鳥獣被害は、年々深刻な状況になっており、地域と行政そして関係機関が一体となって被害対策に取り組んでいくことが大切です。

この協議会は、町内に生息するシカやイノシシなどによる農林業への被害を防止することと、人への危害を防ぐ環境づくりを進めていくことを目的としています。

会議では、事業計画と収支予算が承認されるとともに、鳥獣防護柵の設置についての説明が行われ、実際に防護柵が設置されている白樺地区の現地で柵の機能や設置方法について学びました。



▲白樺地区の防護柵設置研修



▲ピースウォークの様子（役場駐車場にて）

6月15日（水）、核兵器廃絶や戦争反対を訴えて行進する「ピースウォーク」が揖斐郡3町と神戸町で行われ、揖斐川町では、真教寺（三輪）から役場までを約40人が行進しました。

この取り組みは、東京から広島まで市民団体がつなぐ第53回原水爆禁止国民平和大行進の一環です。

富田副町長は、「半世紀前から続けられている国民平和大行進に敬意を表します。」と話し、「核兵器のない平和で公正な世界を」と書かれたペナントに参加者に手渡しました。

また、ピースウォークの開催に併せて、原爆の悲惨さを伝える写真展が揖斐川町中央公民館で開かれました。

揖斐郡・神戸町ピースウォーク
核兵器のない世界をめざして



▲園舎建設工事安全祈願祭の様子

6月17日（金）、「たにくみ幼稚園」と「かすが幼稚園」の園舎建設工事安全祈願祭が行われ、地域の関係者が参加しました。

両幼稚園は、建築から30年以上が経過しており、耐震性などの問題から移転して新築することになりました。

たにくみ幼稚園は、谷汲小学校（谷汲名礼）に、かすが幼稚園は、春日小学校（春日川合）に隣接する場所に建設され、相互の連携を高めることを目的としています。

園舎は、いずれも平成24年2月完成予定です。

神事後、宗宮町長は、「町の将来の元気や活力を担う子どもたちを、新しい園舎で明るくすくすくと育てたいと思います。」とあいさつしました。

幼稚園園舎建設工事安全祈願祭
たにくみ・かすが幼稚園



▲地域がんばり隊員の武藤さん（写真中央）と佐竹さん（写真右）

6月21日（火）、新規の雇用を生み出しながら過疎地の活性化に取り組むことを目的とした「地域がんばり隊員」（県事業）に採用された、武藤美智子さん（大垣市）と佐竹一輝さん（大垣市）が揖斐川町役場を訪れました。

宗宮町長は、「地域に溶け込んだ活動を期待しています。揖斐川町の特色を活かした取り組みを、どんどん提案してほしい。」と激励し、武藤さんと佐竹さんは、「地元の人と力を合わせて、過疎地の活性化を図っていきたいです。」と話されました。

お二人は、久瀬地域の活性化に取り組むために、NPO法人たからのやま久瀬のメンバーとして、平成24年3月まで活動されます。

地域がんばり隊員
若者が過疎地を応援



▲様々な工作や実験を楽しみました

6月25日（土）、揖斐川町中央公民館で、「科学の祭典岐阜大会 in 揖斐川」が開催され、約400人の子どもたちが実験や工作を楽しみ、科学の不思議を体験しました。

6年目となる今年は、岐阜聖徳学園大学教育学部の学生74人がスタッフとして17の実験ブースを運営しました。

風船とCDを使ったホバークラフト、洗濯のりで作るスライム、牛乳パックを再生した紙すきなど、色々な実験が行われ、参加した子どもたちは、興味津々で科学の楽しさを満喫していました。

科学の祭典岐阜大会 in 揖斐川
科学の不思議がいっぱい

秘湯 白龍の湯
来場者50万人達成！

7月2日(土)、秘湯白龍の湯(久瀬温泉白龍の湯)の来場者が50万人に達し、秘湯白龍の湯の玄関前で記念のセレモニーが行われました。

50万人目とその前後の方には、揖斐川町の特産品や温泉入浴優待券などの記念品が宗宮町長から手渡されました。

50万人目の幸運をつかんだのは、愛知県春日井市からお越しの長谷川敏さんでした。

長谷川さんは、「自然の風景と施設の質素な雰囲気が好きです。自分が50万人目の来場者になるとは思ってもいなかったのです、うれしいです。」と話されました。



▲来場50万人目の長谷川さん(写真右)

夜叉ヶ池山開き

伝説の池を目指して登山

揖斐川町坂内と福井県境にある夜叉ヶ池(標高約1100メートル)が7月2日(土)、山開きされました。今年は、残雪が多く、例年よりも1か月遅い山開きとなりました。

夜叉ヶ池登山口で、安全祈願が行われると、約300人の登山客が夜叉ヶ池を目指し、山道を一歩ずつ踏みしめながら登りました。この日は曇り空で、山頂付近は霧がかかっていたましたが、鮮やかな黄色の日光黄菅が群生しており、その光景は、登山者を魅了していました。

登山道から夜叉ヶ池までは、片道約3キロメートルのコースですが、登山される際には、体調を十分整え自分に合った登山をお願いします。



▲群生する日光黄菅を鑑賞する登山者

揖斐川水防事務組合水防訓練

7月3日(日)、下岡島の揖斐川右岸にある河川公園で、揖斐川における水防関係機関、水防管理団体等水防関係者の水防技能の習熟を図ることを目的に、防災関係機関と連携した水防訓練が行われました。

訓練には、揖斐川町、大野町、池田町、神戸町の消防団、揖斐郡消防組合、大垣消防組合、揖斐建設業協会、合わせて約500人が参加しました。

消防団は、土のうこしらえや堤防の欠壊防止や漏水箇所吸い込み口をふさぐシート張工などを行い、揖斐建設業協会の皆さんは、大型重機を使って、護岸用コンクリートブロック積工や大型土のう工の訓練を行いました。



▲水防に関する様々な訓練が展開されました

消火栓塗装補修ボランティア

揖斐川町水道組合

6月3日(金)、揖斐川町水道組合員の15社15人が老朽化した消火栓の塗装を補修する塗装補修奉仕活動を行いました。

このボランティア活動は、昨年度から継続しており、この日は、三輪地区と清水地区で約70か所の塗装補修を行いました。

今後も毎年活動は継続され、今後4年間で揖斐川町全域の老朽化した消火栓の塗装補修を完了する予定です。



▲塗装補修作業の様子



岡山橋工事の見学会が
開催されました

現在、岡山橋の架け替え工事が進められています。このうち、橋の両端を支える基礎である橋台が5月末に完成しました。

これに先立ち、工事中の3月8日（火）と3月10日（木）に地域住民、小学校の児童らを招いて見学会が行われました。

見学会では、講師として招かれた国土交通省木曾川上流河川事務所揖斐川第一出張所長から、揖斐川の概要・環境・保全活動への取組みの紹介、岡山橋の歴史の紹介がありました。

また、施工業者による工事の紹介、現場での測量機器体験・建設機械の試乗体験などが行われました。

その後、出来上がった橋台に揖斐小学校の児童らが寄せ書きをし、「いび川はぼくたちが守っていくよ」、「揖斐川を大切に」といった揖斐川への熱い思いや決意を深めました。

岡山橋は平成24年秋の完成に向け、今後も工事が進められます。



▲揖斐川左岸の橋台



▲揖斐川右岸の橋台



▲現場見学会の様子



▲小学生による橋台への寄せ書き



▲水生生物調査の様子（坂内川にて）

今年度は、町内の6小学校が学校の近くの河川で調査を行いました。

町では、県と合同で町内小学生が、揖斐川などの河川に棲む水生生物を調査することによって、河川の水質を確認し、河川環境保全の重要性を認識することを目的にカワゲラウォッチングを実施しています。

6月10日（金）には、学校間交流の一環として、揖斐小学校と坂内小学校の児童48人が、坂内小学校に近い坂内川で調査を行いました。児童たちは、捕獲した水生生物を図鑑で調べ、カワゲラやヒラタカゲロウなど、きれいな水に棲む水生生物を確認すると、「この川はきれいな水なんだね」と話していました。

カワゲラウォッチング
河川環境保全の重要性を知る